



家の土台をつくる型枠で、国内トップクラス。  
木製遊具やプールなどもつくっています。

株式会社 NSP SS

本社 / 中津川市苗木9167番地 TEL / 0573-67-2112 <https://www.nsp-ss.jp/>  
創業 / 1977年(昭和52年) 従業員数 / 54名 (NSPグループ 290名)

職場見学可能です

私たちの仕事

家を建てる時の土台をつくるために必要な「型枠」づくりから始まった会社ですが、今ではその他にも、土木工事に欠かせない「土留」や、保育園や公園にある木製遊具など、さまざまな製品をつくっています。

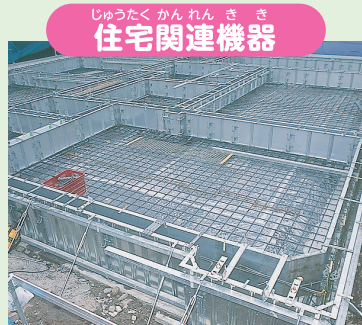


本社

またNSPグループは、製品をつくる株式会社NSP SS、製品を企画・販売する株式会社エヌ・エス・ピー、新規製品開発型の株式会社NSP KSと、3つの会社で構成されています。

どんなものをつくっているの？

「住宅関連機器」や「土留関連器材」を中心に、「木製遊具」や「組み立てプール」「Nクールウェア」などもつくっています。



住宅関連機器



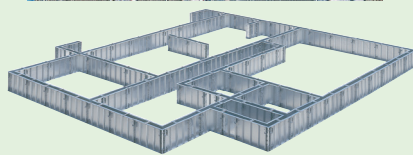
土留関連器材

土留は、水道管などを地下に埋める工事するときに、まわりが崩れてこないように抑えるため使う器材です。



木製遊具

「木曾ひのき」を使った遊具です。中津川市内の保育園などに置かれています。



住宅の土台をつくるときに使う、コンクリートを流し込むための「枠」です。鉄でつくった枠は、丈夫で長持ちするため、大手をはじめとして多くのハウスメーカーで採用され、全国の家づくりに使われています。



組み立てプール

使わないときには解体することができ、ため、せまい場所でもプールを開くことができます。



Nクールウェア

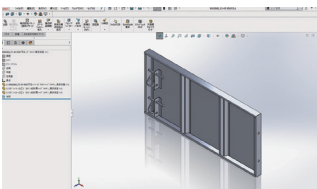
小型のファンを取り付けて外からの風を送り込むことで、熱中症対策になります。

製品はどうやってつくるの？

株式会社NSP SSの工場の中でつくっています。ここでは、住宅関連機器の一つである「NSP基礎鋼製型枠」をつくっている様子を紹介します。



1 図面設計



製品の図面をつくります

2 材料投入・プレス切断



材料になる鉄を機械に投入しプレスで切断します

3 曲げ・自動送り



必要な形に切断された材料が、曲げ加工されながら自動で流れます

4 溶接



溶接という技術を使って、部品と部品を結合します

5 検査



図面通りにできているか、人の手と目で検査します

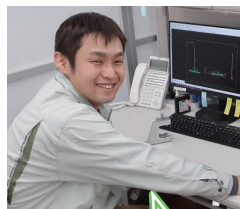
6 出荷



全国各地のお客様に向けて、出荷されます



NSP SSでは、製品をつくるために使う機械も、全部自分たちでつくっています。製品の生産に向けて、機械の設計図をつくった後、材料を加工したり、組み立てたりも、自分たちで行います。



開発 伊佐治 大和 さん  
(株式会社 NSP SS)

働く人の声



営業 藤原 雅之 さん  
(株式会社エヌ・エス・ピー)

工事現場の横を通ると、自分が開発に携わった道具が使われているのを見ることがあります。そのときには、「頑張ってつくってよかった!」と思います。その製品にかけた時間や苦労が大きければ大きいほど、使ってくれている現場を見た瞬間の喜びは大きくなります。

建設工事の会社の人から「〇〇できるような工具が欲しい」という依頼を受けて、新しい商品を仕入れたり、開発の人たちと一緒に工具をつくります。商品を届けたときに、「これで作業が楽になるよ」「助かります。ありがとう」と言ってもらえるのが、最高にうれしいです。